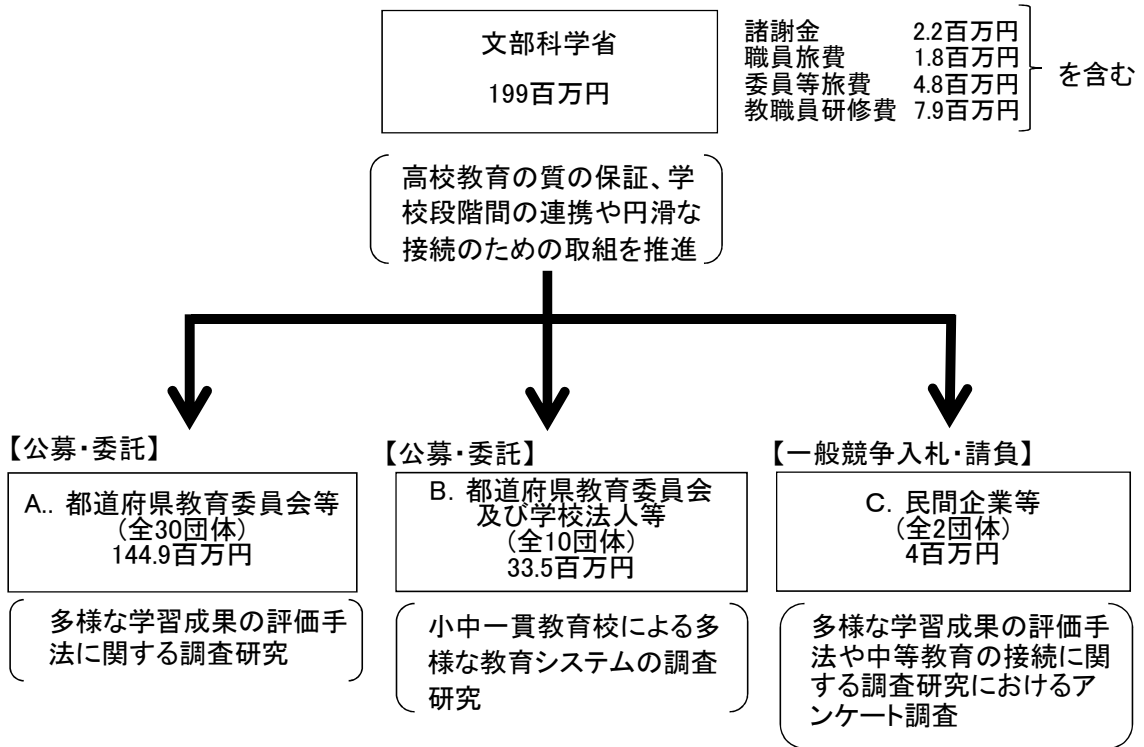


平成24年行政事業レビューシート (文部科学省)

<b>事業名</b>	高等学校等の新たな教育改革に向けた調査研究事業		<b>担当部局庁</b>	初等中等教育局		<b>作成責任者</b>	
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成25年度～		<b>担当課室</b>	高校教育改革PT		主任視学官 望月 禎	
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	II-1 確かな学力の育成			
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	—		<b>関係する計画、通知等</b>	—			
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	高校教育の多様化が進む進展した中で、生徒の多様な教育ニーズに応じつつ、確かな学力の育成や学習意欲の向上等を図るため、中央教育審議会での高校教育の質保証に係る検討状況を踏まえつつ、高校教育の質の保証に係る一層の取組を推進。 また、子どもの成長に応じた柔軟な教育システムの構築に向け、小中一貫教育等の取組を推進。						
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	(1) 高校生の学習到達度把握のための調査の仕組み(目標とすべき水準、実施方法等)等についての検討委員会を設置 (2) 教育委員会等への委託により、高校教育を通じて身に付けるべき資質・能力を多面的に評価する手法について調査研究を実施 (3) 小中一貫教育校による多様な教育システムの調査研究等						
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)	<b>予算の状況</b>	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	
		当初予算				199	
		補正予算					
		繰越し等					
	計					199	
	執行額						
執行率(%)							
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	<b>成果指標</b>		<b>単位</b>	21年度	22年度	23年度	目標値 (28年度)
	多様な学習成果の評価手法について、改善・充実を推進している教育委員会の割合	<b>成果実績</b>	%	—	—	—	80
		<b>達成度</b>	%	—	—	—	
	教育課程の特例を活用した小中一貫校の数	<b>成果実績</b>	校	—	—	—	1,500
<b>達成度</b>		%	—	—	—		
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	<b>活動指標</b>		<b>単位</b>	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	① 高校生の学習到達度把握に関する検討委員会の設置	<b>活動実績</b> (当初見込み)	回	— ( — )	— ( — )	— ( — )	※25年度の活動見込みである。 ( 1 )
		<b>活動実績</b> (当初見込み)	団体	— ( — )	— ( — )	— ( — )	※25年度の活動見込みである。 ( 30 )
	③ 小中一貫教育校による多様な教育システムの調査研究採択件数	<b>活動実績</b> (当初見込み)	団体	— ( — )	— ( — )	— ( — )	※25年度の活動見込みである。 ( 10 )
<b>算出根拠</b>		① 5(百万円/会議) ② 5.1(百万円/指定団体) ③ 3.6(百万円/指定団体)					
<b>単位当たりコスト</b>	① 5百万/1回(平成25年度予算額(案)/会議開催回数) ② 154百万円/30団体(25年度予算額(案)/採択団体) ③ 36百万円/10団体(25年度予算額(案)/採択団体)						
平成24・25年度予算内訳	<b>費目</b>	24年度当初予算	25年度当初予算	<b>主な増減理由</b>			
	諸謝金	—	2百万円	—			
	職員旅費	—	2百万円	—			
	委員等旅費	—	5百万円	—			
	教職員研修費	—	12百万円	—			
	初等中等教育等振興委託費	—	178百万円	—			
	計	—	199百万円	—			

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	中教審において、高校教育の質の保証の在り方について審議されており、審議状況を踏まえながら高校教育改革の取組を一層進めて、その質の向上を図る必要がある。また、内閣の最重要課題の一つとして教育改革を推進するための方策を検討するために設置された「教育再生実行会議」(平成25年1月15日閣議決定)においては、6・3・3・4制の在り方等を重要課題としており、国が主体となって実施する必要がある。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	調査研究を通じて、全国の優れた取組を、全国に普及し、高校教育の質の向上や小中一貫教育等の取組を推進するものであり、国が実施するものである。また、調査研究の実施に必要な経費を計上している。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	国が直接調査するよりも、学校の設置者である都道府県や大学等研究機関等に調査研究を委託することで実効性の高いものとなる。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名 —	
—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	<p>高校教育については、多様な生徒の能力、興味、関心、進路希望等に対応するために高等学校・学科の多様化、特色化を進めてきたが、一方で、義務教育段階での学習内容の定着不足や生徒の学習意欲をめぐる問題などの課題への対応が必要となっている。</p> <p>現在、中教審高等学校教育部会において、主に、高校教育で共通に身に付けさせるもの(「コア」と高校教育の質の保証の在り方について審議いただいているところであり、これらの状況を踏まえながら、高校教育改革の取組を一層進めて、その質の向上を図る必要がある。</p> <p>また、内閣の最重要課題の一つとして教育改革を推進するための方策を検討するために設置された「教育再生実行会議」(平成25年1月15日閣議決定)においては、6・3・3・4制の在り方等を重要課題としていることから、本事業は、政府として取り組む必要がある。</p> <p>本事業の成果目標及び活動指標は、本事業の目的に沿った適切なものとなっている。</p> <p>なお、国が直接調査するよりも、学校の設置者である都道府県や大学等研究機関等に調査研究を委託することで実効性の高いものとなる。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記(国民が事業の仕組みや執行等について理解を深める上で有用と考えられる情報等)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	—

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。



資金の流れ  
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：百万円）

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロック  
 ごとに最大の金  
 額が支出されて  
 いる者について  
 記載する。費目  
 と使途の双方で  
 実情が分かる  
 ように記載)

A. 都道府県教育委員会等(全30団体)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	@4.83百万円×30団体	144.9			
計		144.9	計		0
B. 都道府県教育委員会及び学校法人等(全10団体)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	@5.82百万円×5団体(都道府県教育委員会)	29.1			
委託費	@0.88百万円×5団体(学校法人等)	4.4			
計		33.5	計		0
C. 民間企業等(全2団体)			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務費	@2百万円×2団体(民間企業等)	4			
計		4	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0